

園路を歩いたら…

インタプリターのイチ推し！～秋編～

～2026年度はセンターから近く、光が届く明るい環境の「バリアフリー園路」をご紹介します～



ホンドテン



個性「ストリートうんち」！
道のど真ん中にうんちをするぞ！うんちのにおいをまき散らして、自分の縄張りを主張するぞ！



エナガ



かわいいのはシマエナガだけじゃない！
一年中森にいますが、秋も深まる時期からはよく見かけます。
ジュリリ、ジュリリ♪という、ちょっとかわいくない声もかわいいです（笑）



ナギナタコウジュ

強い香りが一番の特徴で、お茶にするとミントティーのように爽やかな香りますが実物は…。葉を指で軽くこすって嗅いでみてください。



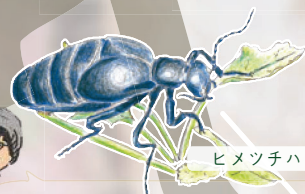
ヤマボウシ

秋になると色々な木の実が赤くなりますが、その中でもヤマボウシが目立ちます。赤くてポコポコ。長い軸がついたまま地面に落ちてます。



ツタウルシ

秋の落葉樹の森の楽しみといえば紅葉ですね。カエデの紅葉も綺麗ですが、たとえカエデやアズキナシの紅葉が振るわない年でも、ツタウルシは綺麗な紅葉を見せてくれます。



ヒメチハンミョウ

個性「ヒッチハイク」！
花で待ち伏せて、やってきた虫にヒッチハイクするぞ！どこに行けるかは運次第だ！

スタッフからのひとこと自己紹介！

もり



今年こそは紅葉の茶臼岳に登りたい。

のぶ



栃木は果物が安くて豊富、品質も良くで大変うれしい。

ヤミ



平成の森に遊びに来てくれる子供達が森で色々見つけてくれて楽しい！

リー



ピーダマンリバイナルで早く EX システムも出て欲しいですね。

カリ



芸術の秋…。本、音楽、絵など…をゆっくり楽しみたいよ



インタプリテーション研修のお知らせ



～「テーマ」に基づいたガイドプログラムの手法を学ぶための実践講座～

那須平成の森では、人と自然の橋渡し役を目指して、インタプリテーションの手法を活用したガイドプログラムを提供しています。このたび、自然解説活動におけるインタプリテーションへの理解を広げるために、プログラムを実際に体験していただき、その後に実施したプログラムの内容等を解説する実践講座を実施します。

特に今回は「テーマ（プログラム参加者に伝えたいメッセージ）」に基づいたガイドプログラムを実践するための手法として、那須平成の森で採用している「ユニット方式」を中心に紹介します。あらかじめ決められた台本を再現するのではなく、「どんな「テーマ」を伝えるか」という軸を保ちながら、「その日にしかできないガイドプログラム」を組み立てることを体験的にお伝えします。

実施日時： 令和 8 年 12 月 9 日（水）10:00～15:00

場所： 那須平成の森フィールドセンター

参加費： 無料

募集人数： 30 人

対象者： 国立公園、自然、地域の紹介に関わる施設で解説等を担当する人、旅行者を案内する民間ガイド（を目指す人）等で、インタプリテーションの基本を学ぶとともに、自然ガイドとしてのスキルアップを図りたい人

講師： 那須平成の森フィールドセンタースタッフ

協力： 古瀬浩史・日本インタプリテーション協会代表理事



詳細は右の QR コードから→



米倉万美さんイラスト変形菌グッズ

小さくたくましい宝石たち～変形菌～



那須平成の森では、那須を代表するアーティストである米倉万美さんが描く、「変形菌」たちがデザインされたオリジナルハンカチを販売しています。館内にはハンカチにデザインされている変形菌イラストの原画も展示していますのでぜひゆっくりとご覧ください。

このグッズをお買い上げいただくと、売上の一部が「那須平成の森運営会」へ寄付され、地域の子どもたちが楽しみながら自然を学べる体験の提供や、日光国立公園内にある那須平成の森の保全および調査活動のために使われます。

変形菌とは、動物でも植物でも菌でもない、たったひとつの細胞でできているアメーバの仲間。森を歩いていると、朽ち木の上などで見ることができます。これをカメラで拡大して撮ってみると…驚くほど美しいのです！

胞子をつくり、胞子の中からアメーバが出てきて、アメーバ同士がくっつき変形体へ、動き回って微生物等を食べながら成熟すると、子実体へ！そしてそこから胞子が！と変身しながらぐるぐるとめぐる命をつないでいます。

乾燥や低温など過酷な環境になればすぐに休眠する戦略で、数億年前から変わらぬ姿で生き続けているそうです。

